

**井藤勲雄 銀行家。被爆者を追悼すべく、ヒロシマに美術館をプレゼントした。**

いとっいさお

アヲヲ 創刊・1908 = 広島県西条の祖父の営む米屋で、尾道で運送業営む井藤直一の長男に生まれる。母はツル。

厳格な母のもと、腕白少年に育ち、

小学校入学後まもなく、父の仕事の関連で尾道に移住、

**ロシア革命・1917 = 9歳：**

成績も優秀で、

水平社結成・1922 = 14歳：受験校たる福山誠之館中学校に進み、

円本時代始・1926 = 18歳：岡山の第六高等学校文科に入学。

同級にはのちの美術館構想につながる大原総一郎があり、先輩の永野重雄は終生尊敬。弓道部に入ると早くもリーダーシップを発揮。

共産党事件・1928 = 20歳：この年の同級からも数人連行される三一五事件にも無縁で、

**世界恐慌**・1929 = 21歳：卒業し、京都帝国大学法学部に進む。

国際連盟脱退1933 = 25歳：この年、京大で思想弾圧の滝川事件。また、芸備銀行では創業家の橋本龍一が頭取に就任。

帝人疑獄事件1934 = 26歳：卒業。陸軍経理学校への就職を考え受験もしたが、父に勧められて、芸備銀行に入社。東京の師団司令部からの呼び出しもあるも、就職済み理由に断るが、直後に、肺門を患い休社し、療養。

芥川直木賞始1935 = 27歳：

二二六事件・1936 = 28歳：回復して銀行に戻るも、同輩は出世し仕事もつまらないと営業部長に相談、励まされるとともに、激務でない為替係にされたが、なお不満で、貸付係に移るも、算盤できず苦労するうち、

大政翼賛会・1940 = 32歳：竹原支店勤務になると、持ち前の人づきあいの良さを発揮して見聞を広め、

・・・・・・・・・・1942 = 34歳：広島市平田屋町支店長代理となる。ゆうゆうと遅刻出勤しながら、店々の状況を掴んで歩き、

年金+総武装 1944 = 36歳：本店貸付課長となる。戦局が進むなか、兵役丙種で体が弱いということで留守番隊。

**敗戦**・・・・・・・・・1945 = 37歳：\*五行合併で新芸備銀行発足。家族を疎開させていた温品の義妹の実家に週末帰省中、原爆投下。逃げ延びてきた被爆者介護に当り、翌日広島に本社して、その被害の大きさ、悲惨さに呆然となるも、被爆死した預金課長の後任となり、残った行員らと活動開始。人を見て判断するだけで、処理し、信用も増す。この間、陣中見舞いに来た友人のくれた南画に癒され、追い打ちとなった枕崎台風の被害も乗り越え、

新憲法公布・1946 = 38歳：出勤途中、瓦礫のなかに夾竹桃の花が咲いているのを見て心に響くものがあり、

その後、業務部長になるが、足を引っ張るものが多いことに嫌気し、自ら願って出て、

三大事件・・・・1949 = 41歳：最も遠い支店の岡山県笠岡支店に転勤。副頭取のねぎらいの言葉に感激して、地域の基礎固めに奔走、

**朝鮮戦争始**・1950 = 42歳：この年、芸備銀行が広島銀行と改称。

**独立回復**・・・・1951 = 43歳：開設して間もない、東京事務所に転勤すると、  
政官財界トップの人たちと接する機会も多くなり、池田勇人秘書官だった大平正芳・宮沢喜一らの知己を得るなどして、のちの飛躍の糧となる。

テレビ放送始・1953 = 45歳：

自衛隊発足・1954 = 46歳：倉敷支店長になっても、パチンコ・麻雀に入り浸り、周囲の人々の心を掴む企まざる営業で、

**55年体制始**・1955 = 47歳：松山支店長に転出。筋を通し、部下を守る徹底さで行内も充実し、労働組合とも自然に話し合い解決し、実力により他を圧倒し、

**安保闘争**・・・・1960 = 52歳：取締役、  
頭取橋本龍一と上京する折には、絵画鑑賞を好む橋本について日動画廊にも出入りするようになり、

全国総合計画1962 = 54歳：

TV宇宙中継始1963 = 55歳：常務取締役、

大学紛争始・1965 = 57歳：本店新築記念の社会貢献に出された案を小さすぎると、広島市に大噴水「祈りの泉」を寄贈。専務経て、

いざなぎ景気1966 = 58歳：副頭取へと出世。

美濃部都知事1967 = 59歳：30余年間頭取を務めていた橋本龍一が病に倒れると、その後継指名で、ついに頭取に就任。屋上に被爆行員の霊を祀るブロンズ像を建立、被爆者の子は最優先で採用する一方、西日本一の銀行を目指して、長期経営計画も立案するが、

**電ヶ関ビル**・1968 = 60歳：\*麻雀中に突然倒れ、頭取辞任の危機となるも、病床から指示を出し続けて復帰。以後、孤高の人になる。

**全共闘ビル**・1969 = 61歳：前年に日動画廊が落札するも買い手が見つからないでいたルノワール「妻わら帽子の女」に出会い、逡巡ののち、県民へのプレゼントと購入を決意、

**大阪万博**・・・・1970 = 62歳：正式に広島銀行に納入されると、県立美術館に寄託。同時に、独自の美術館づくりの夢が芽生えたのか、

**ドルショック**・・・・1971 = 63歳：

沖縄返還・・・・1972 = 64歳：パチカンの手に渡りそうになっていた藤田嗣治のキリスト三部作も購入し、  
IMF総会出席で初めて渡欧すると、ヨーロッパの美術館を視察して回り、日動画廊が落札するもオイルショックで買い手の無くなった膨大なロビンソン・コレクションをも全品購入。中国財界{二葉会}で地域貢献策が話題になったことを背景に、広島銀行創業百年記念事業の目玉として美術館建設構想が具体化、

**石油ショック**1973 = 65歳：\*財団法人ひろぎん美術館を発足させ、ゴッホの名品「ドービニーの庭」をも購入するに至る。  
その後は、日本人画家の作品蒐集にも努め、苦難の未適地と見なした広島公園内の土地も確保

角栄金脈辞任1974 = 66歳：今度は美術館視察目的に、2回目の渡欧。マチスとマネの女性肖像画も購入。美術館建設に着工し、

JALハイジャック・1977 = 69歳：竣工。\*ついに「ひろしま美術館」が開館。

成田衝突・・・・1978 = 70歳：創業百年記念事業として、ほかに百年史編纂、ひろぎんの森に総合グラウンド・体育館・研修所建設、幼稚園新設、映画「瀬戸内の美と共に」制作。

**貿易摩擦問題**1980 = 72歳：

**中曽根内閣**・1982 = 74歳：

**ディズニープ**・1983 = 75歳：ピカソの次女からの申し出で、ピカソ作「ボールの肖像」が加わる。

・・・・・・・・・・1984 = 76歳：頭取を辞任して、会長となり、

・・・・・・・・・・1987 = 79歳：相談役に退くも、美術館館長は務め続けていたが、

昭和天皇没・1989 = 81歳：没した。

長谷川智恵子「瓦礫の果てに紅い花」、